



今回は2月と3月に行われた「代官山駅前の“これから”を考える」のレポートです。現在の代官山駅は1989年に駅舎がリニューアルして以来、大きく変わることはありませんでした。しかし、今年秋の東急不動産による「Forestgate Daikanyama」の完成に伴い、駅周辺の雰囲気は大きく変化すると予想されます。そうした中で、代官山駅前の将来像について語り合った内容をご紹介します。

「代官山駅前の“これから”を考える」－意見交換会－ 2月14日

代官山地域の住民を中心に、東急や駅前のモトヤコーヒーさん等も含む関係者、約60名

が集まり、駅周辺の将来について話し合う場を設けました。公園の中の小さな駅、歩いて楽しいヒューマンスケールの町、日常生活を大切にしたい緑豊かな町、文化を育み回遊できる町など、様々なイメージが語られました。また、今後は街の居心地の良さが変化し、様々な展開がありうるということで、駅と駅周辺の将来像を共有するため、話し合いを続けることになりました。



「代官山駅前の“これから”を考える」ワークショップ 4月5日

代官山ステキな街づくり協議会の小林・加藤両理事により、前回参加者に新たに希望者を加えた約43名が4テーブルに分かれ、ワークショップを行いました。まず「代官山駅の良い所（現状）」について、駅周辺の航空写真や地図を囲んで出された意見を、空間・人間・時間という区分で整理した上で、「代官山駅周辺の望ましい姿」が話し合われました。全体では、駅は小さなスケールにして、緑が豊かで空が広く、文化や多様性を感じられる雰囲気を継承したいという意見が多く、また、人が滞留できるオープンスペースやベンチ、カフェなどが欲しいという提案、さらに駅舎や改札口等の空間的な改善等の意見もみられました。そして、まちの中の繋がりを大事にしながら、高齢者が住みやすい町、若者と高齢者が共存できる町が望まれていました。

代官山駅周辺の望ましい姿（将来）として、小さなスケールの駅、多様性の共有、変化していく中で進化を、静かで豊かな溜まれるスペースを、というキーワードが明確になりました。今後は、これらをどう実現していくのか、様々な世代でまた多様な価値観で新たな方向を模索していきたいと思えます。



代官山ステキな街づくり協議会とは？

「代官山ステキな街づくり協議会（通称代スキ会）」とは、渋谷区まちづくり条例に基づく、この地域の認定まちづくり協議会です。認定まちづくり協議会とは、地域のまちづくりに関するルールづくりや、行政への提言を行うことが出来る組織です。

代官山ステキな街づくり協議会（略して代スキ会）へのお誘い

- 代スキ会 website <http://daisukikai.org>
- 会費 正会員 /年額 10,000円
- 賛助会員(個人) /年額 2,000円
- 賛助会員(団体) /年額 50,000円

- お問い合わせ先 代官山ステキな街づくり協議会事務局
石原貞治(ICAデザイン研究所内)
TEL:080-4404-1933 E-MAIL:ishi_machi@ica-d.co.jp

代官山好き！

がただ一つの入会資格
いつでも誰でもウェルカム♪



Daikanyama Philosophy Cafe

代官山哲学カフェ

哲学カフェは「問い」を丁寧に聴き取り、そこからテーマを決め対話をはじめます。
初めての方や哲学の知識がなくても問題ありませんのでご安心してご参加ください。

ファシリテーター 永井玲衣

哲学カフェとは、カフェでおしゃべりするように、身の回りのことについて(死んだらどうなる?何が芸術?時間ってなに?など)人と一緒にじっくり考え、ゆっくり聴き合い、のんびり対話する時間です。まずは 普段見過ごしがちな「なんで?」「ふしぎ」を発見するところからはじめて、徐々にみんなで深めていきます。

日 時 : 2023年 **5月6日** (土) 14:00 ~ 16:00 (受付 : 13:45 ~)

会 場 : 代官山アーガス (東京都渋谷区猿楽町 24-12) MAP ▶



参加費 : 一般 1,500 円 代スキ会 会員 1,000 円 (コーヒー・小菓子付き)

募集人数 : 15 名

お申込み : 右記の QR または下記の URL からお申し込みください▶

